

働く場における男女の意識調査 《従業員調査票》

へのご協力をお願い

この調査は、「男女共同参画おかやプランⅦ（令和7～11年度）」の策定に向けて、市内の事業所で働く皆様を対象に、働く場における男女の意識や実態等の把握を目的として実施するものです。

今回は、従業員が30人以上の市内事業所50社に依頼し、各事業所あたり10人の方にこの調査票を配布させていただきました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、ご協力をいただきますようお願いいたします。

令和4年9月

岡谷市長 今井 竜五

●調査内容

令和4年4月1日現在のあなた個人のお仕事の状況や、お仕事に対する考え方をお答えください。

●提出方法

記入済みの調査票を同封の返信用封筒（切手不要／会社名・氏名は無記名）に入れて、9月30日（金）までにポストへ投函してください。

ご回答いただきました内容は、「男女共同参画おかやプランⅦ」を策定するための基本データとして使用し、それ以外の目的で使用することは一切ありません。

本調査は全て無記名により行い、調査結果は統計データとして公表します。

記入していただいた情報をお勤めの事業所に公表することは一切ありませんので、日頃感じていることを率直にお答えいただきますようお願いいたします。

（お問い合わせ先）岡谷市地域創生推進課 男女共同参画・多文化共生担当 廣瀬
電話 23—4811 内線1362）

【回答方法】

設問は全部で18問あります。

該当する番号を○で囲んでください。回答できない項目は、空欄としていただいて構いません。「その他」に該当する場合は、()内に具体的な内容を記入してください。

※調査は全て無記名により行います。記入いただいた情報をお勤めの事業所に公表することはありませんので、日頃感じていることを率直にお答えいただきますようお願いします。

●あなたとあなたの世帯について

問1 あなたご自身について、該当するものに○をしてください。

性別(任意)	1. 男性 2. 女性
年代	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60歳以上
結婚	1. 未婚 2. 既婚(配偶者あり) 3. 既婚(死別、離別)
子ども	1. いる 2. いない
介護が必要な人	1. いる 2. いない

問2 問1で「子どもがいる」を選んだ方は、「一番年下」のお子さんについて、該当するものに○をしてください。

1. 3歳未満	2. 3～6歳(小学校入学前)	3. 小学生	4. 中学生
5. 高校生	6. 大学・短大・専門学校生	7. 社会人	8. その他

問3 あなたが属している世帯の構成について、該当するものに○をしてください。

1. 一人暮らし	2. 夫婦のみ	3. 二世帯(親・子)	4. 三世帯(祖父母・親・子)
5. その他()			

●職種と雇用形態について

問4 あなたの職種について、該当するものに○をしてください。

1. 事務的職業	2. 専門的・技術的職業	3. 生産工程の職業
4. 販売・サービスの職業	5. その他()	

問5 あなたの雇用形態について、該当するものに○をしてください。

1. 正規の職員・従業員 →問5-1へ
2. パート、アルバイト →問5-2へ
3. その他 →問5-2へ

問5-1 問5で「1」を選んだ方は、職場での立場について、該当するものに○をしてください。

1. 一般職(スタッフ・係員)	2. 監督職(係長、班長など)
3. 管理職(課長相当職以上)	

(問6へお進みください)

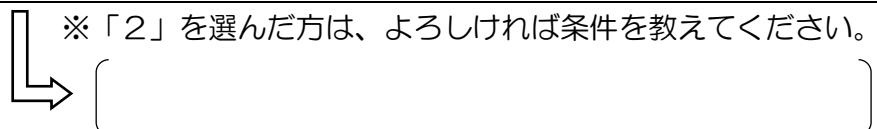
問5-2 問5で「2」または「3」を選んだ方は、現在の働き方を選んだ理由について、該当するもの3つ以内に○をしてください。

1. 正社員よりも勤務時間が短く、時間が自由になるから。
2. 家事・育児・介護など家庭のことと仕事を両立しやすいから。
3. 転勤がなく、自宅または自宅の近くで働けるから。
4. 正社員としての勤め先が見つからなかったから。
5. 正社員として働くことについて、家族の理解や協力を得にくいから。
6. 正社員よりも仕事の責任が軽いから。
7. 仕事の内容が自分の希望と合っているから。
8. 自分が持っている特殊技能・資格・経験などを活かせるから。
9. 他に主な収入源があるから。
10. その他 ()

↓

問5-3 問5で「2」または「3」を選んだ方は、正社員になりたいと思いますか。該当するものに○をしてください。

1. 希望する
2. 条件が合えば希望する
3. 希望しない

※「2」を選んだ方は、よろしければ条件を教えてください。


(問7へお進みください)

●昇格への考え方について

問6 問5で「1」を選んだ方は、管理職（課長相当職以上）になりたいと思いますか。

(現在管理職にある方は、さらに上級職になりたいと思いますか。)

該当するものに○をしてください。

1. 思う →問 6-1 へ
2. 思わない →問 6-2 へ
3. 分からない →問 6-2 へ

問6-1 問6で「1」を選んだ方は、その理由について、該当するもの3つ以内に○をしてください。

1. 今よりも仕事の幅が広がるから。
2. 管理職になって挑戦してみたい仕事があるから。
3. 自分の知識・経験・能力などを活かせるから。
4. 今よりも収入が増えるから。
5. 社内に、キャリアアップや管理職登用を進めようという雰囲気を感じるから。
6. 社内に、家庭と仕事を両立するための制度が整っているから。
7. 社内に、「自分もこうなりたい」と思う管理職がいるから。
8. 自分が働くことについて、家族の理解や協力があるから。
9. 育児・介護などが落ち着き、自分の時間ができたから。
10. その他 ()

問6-2 問6で「2」または「3」を選んだ方は、その理由について、該当するもの3つ以内に○をしてください。

- | |
|---|
| 1. 今の立場に不満がないから。または、今の立場は居心地がいいから。
2. 今よりも仕事の責任が重くなるから。
3. 今よりも残業や休日出勤が増えるから。
4. 転職の可能性が出てくるから。
5. 自分の知識・経験・能力などに自信がないから。
6. 社内に、キャリアアップや管理職登用を進めようという雰囲気を感じないから。
7. 社内に、家庭と仕事を両立できる制度が整っていないから。
8. 社内に、「自分もこうなりたい」と思う管理職がないから。
9. 管理職として働くことについて、家族の理解や協力を得にくいから。
10. その他 () |
|---|

●勤務の状況について

問7 残業や休日出勤について、該当するものに○をしてください。

残業	1. ほとんどない	2. 忙しい時期にはある	3. 常にある
休日出勤	1. ほとんどない	2. 忙しい時期にはある	3. 常にある
今後の希望	1. 今より減らしたい →問 7-1 へ 2. 今より増やしたい →問 7-2 へ 3. 今のままがいい →問 8 へ		

問7-1 問7で「今より減らしたい」を選んだ方は、その理由について、該当するものに○をしてください。

- | |
|--|
| 1. 睡眠時間や休息が十分に取れず、健康に不安を感じるから。
2. 家事・育児・介護など、家庭のための時間を確保したいから。
3. 勉強・趣味・ボランティアなど、自分のための時間を確保したいから。
4. その他 () |
|--|

問7-2 問7で「今より増やしたい」を選んだ方は、その理由について、該当するものに○をしてください。

- | |
|--|
| 1. 収入を増やしたいから。
2. 仕事上の責任を果たすために必要だから。
3. 仕事が間に合わないから。
4. 長時間働いた方が、会社に評価されるから。
5. その他 () |
|--|

●各種制度や職場の環境について

問8 問1で「子どもがいる」を選んだ方は、育児休業（※1）について、該当するものに○をしてください。

1. 育児休業を取得したことがある。（休業期間総計：約 _____ 年 _____ ヶ月）
2. 育児休業制度を取得することはできたが、自分の意思で取得しなかった。
3. 育児休業制度はあったが、何らかの理由により取得できなかった。
4. 育児休業制度がなかったため、取得できなかった。
5. その他（ _____ ）

※1 育児休業

労働者は、男女ともに、企業等へ申し出ることにより、子どもが1歳（一定の場合は最長で2歳）になるまで、育児を目的として休業することができます。

問9 男性社員による育児休業の取得について、該当するものに○をしてください。

1. 男性も取得したほうがよい。（同僚が取得する場合は応援したい。） →問10-1へ
2. 男性は取得しないほうがよい。（同僚が取得すると仕事上困る。） →問10-2へ

問10-1 問9で「1」を選んだ方は、その理由について、該当するもの3つ以内に○をしてください。

1. 出産後も働き続ける女性が増えているから。
2. 男性も育児の大変さを経験したほうがいから。
3. 夫婦一緒に子育てを経験できる機会だから。
4. 夫婦で家事を分担できるから。
5. 社内に、男性社員による育児休業の取得を進めようという雰囲気を感じるから。
6. 女性の出産年齢が高くなっており、体力的な不安を抱える母親が増えているから。
7. 母親の精神的な不安や負担を和らげることができるから。
8. 父親が育児に参加すると、子どもの発達に良い影響があるから。
9. その他（ _____ ）

問10-2 問9で「2」を選んだ方は、その理由について、該当するもの3つ以内に○をしてください。

1. 収入が減るから。
2. 社内で、男性社員が長い休みを取ることに理解を得にくいから。
3. 社内に、男性社員が育児休業を取得した前例がほとんどないから。
4. 男性社員が長い休みを取ると、今後の昇給や出世が遅れる可能性があるから。
5. 男性社員が長い休みを取ると、人員不足になるから。
6. 女性の方が、育児や子どもとのコミュニケーションが得意だから。
7. 男性は外に出て働き、女性は家を支えるべきという世間体が気になるから。
8. 男性が育児休業を取得することについて、家族の理解を得にくいから。
9. その他（ _____ ）

問 11 育児・介護休業法が改正され、令和4年4月より男性も育児休業を取得しやすくなったことをご存じですか。

1. 知っている 2. 知らない 3. わからない

＜参考＞ 令和3年度、育児・介護休業法が改正されました。
 (令和4年4月1日より段階的に施行)
 出産・育児等による労働者の離職を防ぎ、希望に応じて男女ともに仕事と育児等を両立できるように、法の整備が行われました。ポイントは…
 ①雇用環境整備、個別の周知・意向確認の措置の義務化
 ②パート労働者(有期雇用労働者)の休業取得条件が無期雇用労働者と同様とする。
 ③産後パパ育休(出生時育児休業)の創設
 ④育児休業が分割で取得可能

問 12 介護休業(※2)について、該当するものに○をしてください。

1. 介護休業を取得したことがある。(休業期間総計：約 年 ヶ月)
 2. 介護休業制度を取得することはできたが、自分の意思で取得しなかった。
 3. 介護休業制度はあったが、何らかの理由により取得できなかった。
 4. 介護休業制度がなかったため、取得できなかった。
 5. 介護休業が必要な状況になったことはない。
 6. その他 ()

※2 介護休業
 労働者は、企業等へ申し出ることにより、要介護状態にある家族1人につき、常時介護を必要とする状態ごとに3回まで、介護を目的として休業することができます。

問 13 あなたのワーク・ライフ・バランス(※3)に対する考え方について、該当するものに○をしてください。

理想	現在の生活
1. 仕事を優先したい。	1. 仕事を優先している。
2. 家庭生活や個人の時間を優先したい。	2. 家庭生活や個人の時間を優先している。
3. 全てのバランスを取りたい。	3. 全てのバランスが取れている。

※3 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)
 一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などでも、人生の段階に応じてさまざまな生き方が選択・実現できる状態

問 14 社員がワーク・ライフ・バランスを実現するために、企業はどんな取組を行うべきだと思いますか。該当するもの3つ以内に○をしてください。

1. 経営者や管理職が「成果や能力よりも勤務時間の長さを評価する」という意識を改める。
 2. 仕事を見直し、無駄な業務や作業を減らす。
 3. 社員に、計画的に有給休暇を取得させる。
 4. ノー残業デーを設ける。
 5. 育児休業や介護休業を取得しやすい職場環境をつくる。
 6. 勤務時間の短縮や在宅勤務など、社員が自分に合った働き方を選べるようにする。
 7. その他 ()

問 15 日ごろ職場で感じていることについて、該当するものに○をしてください。

項目	はい	いいえ
社員の活躍やキャリアアップを進めようとする雰囲気を感じる。		
「自分もこうなりたい」と思う管理職がいる。		
性別に関わらず、能力の高い社員が評価されている。		
性別に関わらず、希望する社員には研修や学習の機会が与えられる。		
性別によって難しいと思う部署や仕事がある。		
結婚・妊娠・出産をきっかけに、退職する女性社員が多い。		
家庭と仕事を両立するための制度が整っている。		
子育て中の女性社員を応援しようという雰囲気がある。 (産休・育休・看護休暇取得含む)		
子育て中の男性社員を応援しようという雰囲気がある。 (育休・看護休暇取得含む)		
休暇や各種休業制度を利用しやすい。		
職場環境や育児・介護休業についての相談体制が整っている。		
補助的な仕事や雑用は、女性の役割だと考えている女性社員が多い。		
補助的な仕事や雑用は、女性の役割だと考えている男性社員が多い。		

●各種ハラスメントについて

問 16 職場で以下の経験があれば、該当するもの全てに○をしてください。

項目	自分が 経験した	他人の経 験を見た	相談 された
1. 性的な冗談を言われたり、質問をされたりした。			
2. 体を触られたり、じろじろ見られたりした。 「最近太った？」など体型のことを言われた。			
3. (女性社員) 当然のように雑用をさせられた。			
4. (男性社員) 当然のように重い荷物を持たされた。			
5. 特定の異性社員ばかりに目をかける人がいた。			
6. 未婚の社員との交際を無理に勧められた。			
7. 未婚の理由や子どもがいない理由を何度も聞かれた。			
8. 出産・育児・介護等に関する制度を利用しようとしたと きに、嫌な顔をされたり、心無い言葉をかけられた。			
9. 極端に簡単な業務しか与えてもらえない。			
10. 高圧的な口調で命令された。			
11. その他 ()			

問 17 問 16の各項目はハラスメントの一例ですが、ハラスメントが起こる原因は何だと思えますか。該当するもの3つ以内に○をしてください。

1. 上司・部下に関わらず社員どうしが、仕事のパートナーとして対等な関係を築けていないから。
2. 社内で、社員どうしの日常的なコミュニケーションが不足しているから。
3. 性的な発言に対する男女の感じ方の差について、鈍感な人がいるから。
4. 性別による役割分担意識の強い人がいるから。
5. ハラスメントを受ける側が、はっきり嫌だと言わない（言えない）から。
6. 社内でハラスメントに対する認識が低く、ハラスメントがあったときの対応が甘いから。
7. その他（ ）

問 18 あなたがハラスメントを受けたとき、相談できそうな人は誰ですか。該当するもの全てに○をしてください。

1. 社内の関係者（上司、人事・労務担当者、ハラスメント相談窓口など）
2. 同僚
3. 家族、友人
4. その他（ ）
5. 相談できる人はいない

働く場における男女の意識について、ご意見、ご感想などがありましたら記入してください。

質問は以上です。ご協力、どうもありがとうございました。

